

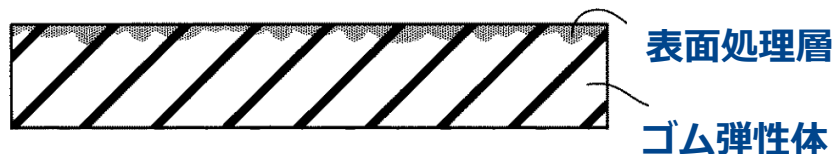
技術の特徴

- ゴム弾性体と、その表面より含浸させた光硬化性組成物の硬化物よりなる表面処理層を有する、改質ゴム弾性体
- 光硬化性組成物は、以下を含む
 - ・ (メタ) アクリルモノマー
 - ・ シリコーン基および／またはフッ素含有基と (メタ) アクリロイル基とを分子内に有する光重合性ポリマー
 - ・ 光重合開始剤

効果

離型性と低摩擦性を両立できる改質ゴム弾性体を提供

イメージ図



適用製品

ガスケット

ライセンス範囲条件

電子写真部材以外の製品

技術の詳細

□ 製法

➤ ゴム弾性体（被処理材）の成形

ゴム弾性体：ポリウレタン

➤ 光硬化性組成物の液中に、ゴム弾性体（被処理材）の表面を含浸

※光硬化性組成物の例：下記成分を混合

シリコーン基（フッ素含有基）を有する（メタ）アクリレート系光重合性ポリマー、
（メタ）アクリルモノマー、ラジカル系光重合開始剤、溶剤

※含浸条件

温度25℃の光硬化性組成物液中に、10秒間浸漬。

温度25℃で10分間放置。

➤ ゴム弾性体の含浸部表面にUV（紫外線）を照射

※UV照射条件

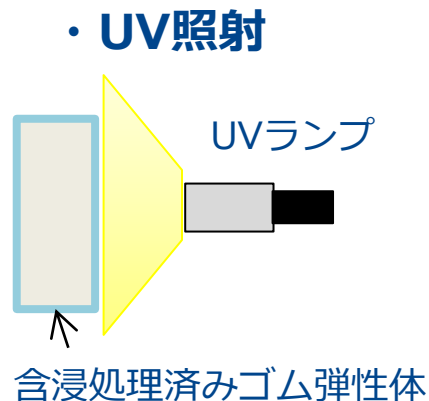
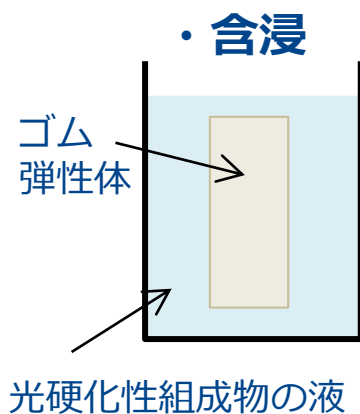
UVランプとゴム弾性体表面の距離：200mm、

UV照射強度 100mW/cm²、UV照射時間 30 秒

技術の詳細

□ 製法イメージ

イメージ図



ゴム弾性体の含浸
部表面にUV照射し、
含浸部を硬化

□ 必要設備

ゴム成形機、含浸槽、UVランプ